

## レノファ2選手 役場を訪問

サッカーJ2レノファ山口所属で周防大島町のご当地選手となった、FW大石寿選手とGK吉満大介選手が8月7日、役場大島庁舎を訪れました。

初めて来島されたお二人に椎木町長は改めて町の歴史や魅力を紹介。大石選手は「サッカーを通して盛り上げていきたい」、吉満選手も「全国の皆さんに周防大島をPRしていきたい」と意気込みを語られました。椎木町長はPR大使を務めるお二人にアロハシャツを贈り「ぜひ上をめざしてがんばって。周防大島から応援している」と激励しました。



▶椎木町長からアロハシャツが贈られました。右が大石選手、左が吉満選手。

## ぱしふいっくびいなす再び



▶沖合いに停泊する客船を背に行われたウエルカムフライト

豪華客船「ぱしふいっくびいなす」(全長183・4メートル、2万6594トン)が8月9日、昨年に引き続き周防大島町に寄港しました。

これは、神戸港発着3泊4日の船旅で、本町を経由し鹿児島県の屋久島まで周遊するもので、乗客約500人乗せ片添ヶ浜の沖合約1kmに入港。通船で上陸される皆さんにみかんジュースやみかんゼリーが振る舞われたほか、フラのイベントなども行われました。乗客の皆さんは、海水浴を楽しんだり町内や柳井市などを観光し、ゆったりとした一日を過ごされました。

## 夕方の体操でリフレッシュ



▶外の空気を吸って思いきり体を動かしました

1日の農作業や仕事の仕上げにラジオ体操をして体をリフレッシュさせようと、この夏初めて「夕焼けラジオ体操」が開かれました。

これは、NPO法人ココロとカラダ健研究会が主催(町教育委員会後援)したもので、夏休み期間中のお盆を除く毎週月曜日に夕方6時から役場大島庁舎前の広場を会場に実施。仕事帰りの方や役場の職員、近所の小学生ら多くの方が参加しました。

同会では毎夏、ラジオ体操による健康づくりに取り組んでおり、より多くの方の参加を呼びかけています。

## うまい具合に動くかな?

8月10日、大島商船高等専門学校を会場に「すもうロボットをつくろう」と題して、親子発明工作教室が開かれました。

これは、実験や工作を通して考える力や創造する力を育てようと、島スクエア次世代育成の一環で行われたもので、50人の小学生が参加しました。

教室では、電池の向きでモーターの回転方向が変わることを確認し、モーター2個を使ってしっぽットを作りました。子どもたちは配線に戸惑いつつも、完成したロボットを器用に操作していました。



▶先生に教わりながら楽しく作業しました